

全体	62
個別	14-01

令和3年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	教育総務課
-----	-------

区分	項目	島っこ留学制度による留学生の招致推進
1	【内容】 「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成27年11月からスタートした制度です。複式学級の解消等も考慮し、仁田小学校区に加え新たな校区での受け入れを推進するため、新規里親の募集を行うとともに、体験留学、広報事業の充実を図ります。	
組織目標	【指標】 ○留学生招致 3名以上（小学生若しくは中学生） ⇒体験留学（5組10名程度）を実施します。 ⇒HP・SNSに重点をおいた情報発信や広報事業を実施します。 ⇒福岡での事業説明会を実施します。 ⇒里親を追加募集し、受入体制の整備を行います。	
2		・ 仁田小校区2名（継続）の里親による受入体制により、令和3年度は5名（うち継続4名、新規1名）の留学生が就学しました。 (内訳) 仁田小学校 2名（5年男子1名、6年男子1名） 仁田中学校 3名（1年男子1名、3年女子2名） 合計5名 ※3年度当初6名の新規留学生がいましたが、5名が途中解除となりました。
3		・ 当初2年間は受入実績がありませんでしたが、平成29年度は4名、30年度は7名、令和元年度は6名、2年度は6名、3年度は6名（うち5名は途中解除）の留学生を受け入れました。 ・ 体験留学は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止しました。 ・ 福岡事業説明会は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。 ・ 事前視察は、6家族（留学希望者6名）を受け入れました。うち3名から留学申込書の提出があり、1名を令和4年度留学生に決定しました。 ・ 広報・啓発事業は、専門業者と委託契約し、ホームページの運営・更新、活動写真撮影、SNS等による情報発信、チラシ作成を実施しました。
4		・ 里親の確保が非常に困難な状況であり、受入体制の充実が急務であるため、新規里親の募集を行います。 ・ SNS等インターネットによる情報発信に重点をおいて広報活動を展開します。
評価	◎	
今後の展開		

全体	63
個別	14-02

令和3年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	学 校 教 育 課
-----	-----------

区分	項 目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成
1	組織目標	<p>【 内 容 】 ◎対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進</p> <p>①確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 ②心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 ③生徒指導及び特別支援教育の充実 ④校種間連携、地域との連携の充実 ⑤幼稚園こども園教育の充実</p> <p>【 指 標 】</p> <p>①－(1)学校訪問時及び各種研修会における指導助言⇒年間15回以上 (2)ICTを活用した授業支援、研修会の実⇒年間4回以上 ②－(1)ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作⇒全校 ③－(1)SSW及びSCとの連携と効果的活⇒SSWとの情報交換年間3回以上 (2)教育支援委員会の充実⇒年間2回開催、日頃の各学校との連携強化 ④－(1)中学校と高等学校の連携強化⇒中高連携協議会の充実(各高校部会1回) (2)コミュニティ・スクールの運用⇒新規の学校運営協議会設置に向けた準備の開始 ⑤－(1)特色ある園づくり⇒鶏鳴幼稚園(一昨年度から3年間の指定研究)</p>
2	実績(成果)	<p>①－(1)16校(研究指定校8校、新任校長校等を含む学校訪問8校)を訪問し、授業参観と指導助言を実施しました。 (2)年間30回を超える各種研修会を実施し、8校の学校を訪問し、ICTを活用した授業支援を行いました。 ②－(1)全ての学校でふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画を作成しました。 ③－(1)SSWとの情報交換を年間3回実施しました。 (2)教育支援委員会を年間2回開催。保護者も対象にした特別支援教育の理解を図る研修会を実施しました。 ④－(1)中高連携協議会(市内3高校の各部会に参加をし、中学校と高等学校の連携を深化させました。 (2)新規の学校運営協議会設置に向けて学校選定を行いました。 ⑤－(1)園長会を年間4回、研修会を5回実施しました。特色ある園づくりに向けては、鶏鳴幼稚園(3年間の指定研究の最終年度)への研究支援を行いました。</p>
3	評価	<p>各種研修会の実施については、コロナ禍であったが、感染症対策を講じ、研修会の中止を最小限に留めることができ、当初計画をしていた9割の研修を予定どおり実施することができました。教職員への指導や助言を通して、目標の実現に向けて取り組むことができました。</p> <p>○</p> <p>(1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や小学校における複式指導法研修など、授業実践を中核とした研修会を通して教職員の指導力向上につなげることができました。 (2) 学校を訪問し、授業を参観し、指導助言を行うことで現場のニーズに直結した指導をすることで学校教育の充実につなげることができました。</p>
4	今後の展開	<p>(1)授業におけるICT機器の積極的な活用のため研修会を充実させ、教職員の指導向上を通して、児童生徒の学力向上をさせます。 (2)校務支援システムの活用による教職員の働き方改革、教育委員会と学校が連携した学校の働き方改革を実施します。</p>

全体	64
個別	14-03

令和3年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	生涯学習課
-----	-------

区分	項目	地域住民の学びと活動の推進
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>長崎県下の公民館関係者、社会教育関係者が一堂に会し、研究協議等を行い、新しい時代の要請に応える公民館の役割を明らかにするため、毎年県内各地を会場として、長崎県公民館大会が開催されています。</p> <p>令和3年10月14日から2日間の日程で、長崎県公民館大会が対馬市を会場として開催されるため、大会内容の充実を図るとともに、より充実した研究協議や意見交換等が行えるよう円滑な大会運営を目指します。また持続可能な地域づくりの推進と公民館の役割について研究討議を行い、今後の地域住民の学びと活動の推進に活用します。【令和2年度から継続】</p> <p>【指標】</p> <p>①趣旨、大会テーマを決定し、特色ある公民館大会を開催します。</p> <p>②より充実した研究討議や意見交換等を行えるよう分科会の構成等を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県生涯学習課との協議⇒3回 ・現地事務局会議の開催⇒2回 <p>③新しい時代に対応する公民館について調査分析⇒1回</p>
2		実績（成果）
3	評価	<p>○</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、基調講演の動画配信と書面による分科会事例発表という方法での大会開催となりましたが、参加者アンケートの結果では、大会誌や動画等が学びにつながったと回答した参加者が95%となっており、コロナ禍の中でも参加者の学びを広げることができました。</p>
4		今後の展開

全体	65
個別	14-04

令和3年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名	文化財課
----	------

区分	項目	文化財の保存・活用
1	【内容】	対馬市内に残る各種の貴重な文化財を未来に保存・継承していくために、各専門家からなる委員会を開催し、今後の保存計画策定を目指します。
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ① 金石城跡・旧金石城庭園の保存活用計画等検討委員会を2回開催予定です。 ② 越高遺跡調査検討委員会を2回開催予定です。 ③ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を1回開催予定です。
2	実績（成果）	<p>コロナ禍のために当初の日程どおりには実施できませんでしたが、リモート会議に分けて開催するなどして、不足分を補いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を3回開催しました。（リモート2回、対面1回） ② 越高遺跡調査検討委員会を2回開催しました。（リモート1回、対面1回） ③ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を対面とリモートを併用して1回開催しました。
3	評価	<p style="text-align: center;">○</p> <p>①～③はコロナ禍の中においても当初の予定どおり事業を遂行することができ、継続して次年度の事業に引き継ぐことができました。 特に対馬藩関連遺産群の整備基本計画の大枠をまとめ、継続して次年度に引き継ぐことができました。</p>
4	今後の展開	令和4年度も引き続き事業を継続し、対面での委員会を3回以上開催して整備基本計画の策定や調査報告書の作成を完了します。